

箱根を彩る夏の祭り

箱根の夏は、短い。気が付くと秋になり涼しい風が吹いている。短い分、その夏は濃厚だ。空は青く冴えわたり山々の緑は、人々を優しく迎える。

涼しく過ごしやすい夜。そんな闇夜の静寂に轟音が響く。湖上に、山中に。お祭りだ。賑やかな神事。楽しい催し。町民から観光客まで、驚きや喜び、たくさんの笑顔がはじける。

今年の夏も各地域でお祭りが開催されました。町内の祭りを少しだけ紹介します。



箱根の夏の始まりを告げる音が湖上に響き渡る。芦ノ湖上から打ち上げる花火は、近きもついで、音、大きさ共に迫力がある。箱根の祭りの多くで花火が上がる。花火は闇夜に咲く大輪の花。春の花見は屋に、夏の花見は夜に。

湖水際 7月31日



荒ぶる龍神を鎮める。芦ノ湖にすまう龍神。湖岸の各地域で行われる祭りは、龍神を鎮めるため、炎をともし湖面に映す。湖尻龍神祭では湖岸の薪に、鳥居焼まつりは湖上の鳥居に。湖面に映った炎の揺らめきが龍神の心に穏やかな静寂をもたらすことを願う。

湖尻龍神祭 8月4日



湖上に浮かべた鳥居を焼く。箱根駅伝のゴールでもある箱根地区では鳥居焼祭りが行われた。龍神を鎮めるため、二基の鳥居を湖上で燃やす。そのさまは美しく、傍げだ。湖岸では九頭龍太鼓が響き渡る。空高く鳴り響いた太鼓の音は、きっと龍神に届くだろう。

鳥居焼祭り 8月5日

祭りは人々の祈りと願いの歴史。宮城野地域では虫送り火まつりが行われる。観光の町・箱根で、田畑の虫を煙で払い、五穀豊穡を願うための祭りが行われる。これは過去にこの地で農業が行われていたことを伝える標である。人々の祈りや願い、そしてその歴史が祭りを通じて語りかけてくる。

宮城野虫送り火まつり 8月14日

